

2006年3月13日

報道関係各位

株式会社アイ・ブイ・スクエア

ソフトウェアの安全・信頼性を検証・確認する サーベランス・サービスを4月からスタート

株式会社アイ・ブイ・スクエア（本社：横浜市、代表取締役社長：谷崎護久）はインドのソフト会社3社と提携し、ソフトウェアの安全・信頼性を検証・確認するサーベランス・サービスを今年4月から開始いたします。ソフトウェア品質コンサルティング、トレーニングまたは人材教育で多くの実績を持つ米Software Quality Engineering（SQE）社の日本法人であるSQEジャパンと協業し、当面はソフトウェア品質が最も重視されるエンベデッド分野や情報通信分野を中心に、工学的アプローチによる客観的な機能検証と品質確認を受託し、近い将来には企業内サーベランス体制の整備をサポートするための研修・人材育成、コンサルティングなどを提供していく計画です。

ここにきて社会・経済を支える情報システムや電子機器の誤動作、機能停止等が目立って増えております。特にエンベデッド系ソフトウェアの品質は、ユビキタス・ネットワーキング社会を目前に控え、いっそう重要になっており、2006年度にスタートしたIT新改革戦略でも「高度IT社会の安全・安心・信頼」が重点課題に掲げられております。

こうした観点から当社は、昨年4月からインドのソフト会社3社と共同で工学的アプローチによる第三者サーベランス手法「Independent Verification & Validation（IV&V）」を確認してまいりました。国内での実証実験を経て、日本国内ユーザー向けサービスメニューを整えたのを機に、本格サービスを開始するものです。

提携したインドのソフト会社は、スタッグ（**Stag** Software Private Limited：業務系アプリケーション） スマートエッジ（**Smartedge** Infortec Solutions Ltd：エンベデッド系アプリケーション） アコード（**Accord** Software & Systems Pvt. Ltd.：航空機・医療向けアプリケーション）の3社で、(株)アイ・ブイ・スクエアは日本国内のユーザー向けにソフトウェア品質向上のためのコンサルティングを行うとともに、ソフトウェアの機能と品質の検証・確認業務を受託いたします。

エンベデッド、情報通信、航空・医療等の分野のアプリケーションはハードウェアと一体の

検証・確認が必要なケースが少ないため、受託に当たっては必要に応じてサーベランス・エンジニアを派遣するなど、柔軟に対応してまいります。

初年度はセミナーやコンサルティングを通じてユーザーの開拓に努め、数年内にIV&V手法に基づくテスト方法論や、技術の供与、要員育成のための研修制度などを確立してまいります。これにより、年間売上高1億5,000万円(2006年度)を目標としております。

以上

【補足資料】

1. ソフトウェア・テスト市場の規模(推定)

情報サービス産業の2004年度売上高のうち、ソフトウェア開発(56.1%)、SIサービス(23.8%)の20%をテスト作業と見れば、全体14兆5,600億円の16%(2兆3,300億円)がプログラムのバグフィックスやシステム動作確認など検証・確認に費やされています。この数字にはユーザー企業による社内開発を含んでおらず、テスト市場は更に大きいと想定されます。また、M&Aにおけるシステム統合や新しいビジネス環境に対応したシステム要請など、社会変革によるテスト・ニーズは今後増大すると見られています。

さらに2008年ごろには、多くの新しいアプリケーションが、ノン・プログラミングでのコンポーネントの組み立てで実現するといわれており、開発方式の変化に呼応したテストの重要性和ニーズは計り知れません。

2. サーベランス・サービス

ソフトウェアの性能・機能はこれまでバグの有無をチェックし、動作確認を行うのが一般的でした。しかし、他の機器との連携や、使用者の誤操作など、開発時・開発者では予想されない条件が重なって誤動作や機能停止が発生することがあります。本サービスはソフトウェアの品質を保証するものでなく、あらかじめ設定した様々な条件の下で機能・性能、動作を審査(サーベランス)することに主眼があります。

本件に関するお問合せ先

(株)アイ・ブイ・スクエア (<http://www.ivsquare.co.jp/>)

速水(hayamizu@ivsquare.co.jp)

五反田オフィス 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-22-37-702

TEL/FAX 03-3445-4610

【ご参考】

1. (株)アイ・ブイ・スクエア (<http://www.ivsquare.co.jp/>) :

本店所在地 横浜市港北区箕輪町二丁目14番19号

五反田オフィス 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-22-37-702

TEL / FAX 03-3445-4610

設 立 2004年4月11日

資 本 金 1,000万円

売上目標 1億5,000万円(2006年度目標)

企業信念:

第三者による検証および妥当性確認サービスを通じ、下記に尽力する。

- ・ 社会には安心と快適を
- ・ 企業にはリスクの最小化とコストの適正化を

代表取締役・谷崎護久のプロフィール

昭和41年(1966)東京都立大学理学部数学科を出て日本アイ・ビー・エム(株)に入り、金融機関営業本部でのバンキング・オンライン・システム開発、SEの管理職を経たのち、(株)AST総研(三菱商事他との合弁)および(株)リュウ・アイ・システム(沖縄・琉球銀行との合弁)で役員を歴任した。日本IBMを早期退職し、アクセンチュア(株)で品質管理部長を務めた。

2. インドのパートナー 3社

Stag社 (<http://www.stagsoftware.com/>)

テスト工学、品質工学の博士らが1999年に起業し、独自のテスト方法論によるテスト・ビジネスを展開している。130人のテストチームを持ち、50以上の顧客と100近くのプロジェクト(業務アプリケーション、金融、通信、健康産業理)で検証サービスの実績がある。

Smartedge社 (<http://www.smartedgeindia.com/>)

2002年に設立され、エンベデッド・ソフト分野のソフトウェア開発および技術コンサルティングを行っている。ソフトウェア検証・確認サービスに80人の技術者を持ち、テストサービス、テストソフトウェア、ポーティングサービス、高度・組込みソフト開発、DESSによる組込みソフト開発の改革支援のサービスを展開している。

Accord社 (<http://www.accord-soft.com/>)

5人の科学者が中心となって1991年に設立された。家電、無線コミュニケーション、航空・宇宙および、医療(ライフ・クリティカル)向けシステムのテストで知られる。200人の技術者が先進のソフトウェア・サーベランスに対応している。